

評定判断基準
A …達成率90～100%
B …達成率70～ 89%
C …達成率60～ 69%
D …達成率60%未満

令和2年度 学校関係者評価

中津市立三郷小学校

1 学校の教育目標: 身につけた「力」を活かし「深く考え」意欲を高めて「挑戦」する 三郷っ子
 2 育成を目指す資質・能力: 言語能力 ・ 考えを形成し深める力

計画 (11月11日)				確認・検証 (12月16日)	学校関係者評価 (12月18日)	
重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標 <small>※誰が、何を、どれくらいの頻度で</small>	達成指標・取組指標 の妥当性を検証	評価	意見・要望等
言語能力の習得	<p>○児童アンケート「キーワードをつかってふりかえりができた」(書けるか言えるかどうかできればよい)の項目で、◎と回答する児童の割合が80%以上</p> <p>○児童アンケート「スキルタイムや授業を通して「言葉の力」</p> <p>①語彙力 ②話す力 ③聞く力 ④書く力 ⑤読む力がついてきた」◎と回答する児童の割合80%以上</p> <p>※強化学期 2学期…①②④ 3学期…①⑤④</p> <p>○国語の単元テストにおける観点別の項目で、80点以上の児童の割合80%以上</p>	学校	<p>○単元テストを意識した授業を展開し、毎時間のふりかえりやキーワードによる基礎学力の定着</p> <p>○毎月・木・金のスキルタイム(審の時間)で、曜日と内容を固定した取組を行う。 月一語彙 火一話す聞くスキル 木一短作文成 金一読解プリント</p>	<p>達成指標…妥当・継続 取組指標…継続</p> <p>・児童の意識としては、「言葉の力」がついてきたと答える児童が多くなった。しかし、その力が単元テストに表れていない学年がある。</p>	B	<p>○言語能力の育成に焦点化していることは大変よい。三郷小の児童の実態に合っている。</p> <p>○子どもたちにアンケートを行い、個人の反省を求めることは、とてもよい。 ・キーワードを使っての振り返りやスキルタイムを行うことで、「言葉の力」に自信がついた子どもが増し学習意欲につながっていくと思う。 スキルタイム実施率100%達成とよい結果になっている。</p> <p>▲国語の単元テスト結果80%以上の割合が低い学年の理由を分析してほしい。 結果が表れなかった児童がいることが残念。繰り返し何度も問題を解くことで力がつくと思う。 今すぐに結果につながらなくても自信につながるので、間違えたところ・忘れてしまったところを保護者を含め確認するとよい。</p>
		家庭	<p>○家庭学習に集中できる家庭環境づくり</p> <p>○家庭学習チェックシートの取組に参加し、感想を書く。</p> <p>○生活チェック週間、特に「親子でメディアコントロール」に協力する。(2学期・3学期に1回ずつ)</p>			
		地域	<p>○見守り隊を中心としたあいさつ・声かけ運動の推進</p> <p>○登下校時に子どもを見かけたら、あいさつや言葉かけをする</p> <p>○地域での子どもの様子について、学校に伝える。(学期に1回アンケート)</p>			
考えを深める力の育成	<p>○児童アンケートで、「ペア・グループ活動を通して思いを伝え合うことができた。」◎と回答する児童の割合を70%以上</p> <p>○児童アンケートで、「いろいろな方法で考えるためにICT・思考ツールを活用することができた。」◎と回答する児童の割合を80%以上(ホワイトボード・ロイロノートなど)</p>	学校	<p>○考えを深め、言語能力を活用させる取組</p> <p>○[1・2・3年]ホワイトボードで自分の考えを視覚的に表現する。</p> <p>○[4・5・6年]ロイロノートの思考ツールで自分の考えを視覚的に表現する。</p>	<p>達成指標…妥当・継続 取組指標…継続</p> <p>・12月ふりかえりチェックシートの結果を見ると、ツールを使ってペア・グループ活動が全体の場でも生かされてきた。</p> <p>・12月セルフチェックシートの結果を見ると、毎日一回以上授業で取り組むことができていた。職員意識向上の現れだと考える。</p>	A	<p>○考えを深める学習で考えさせたり発表させたりする場の設定が具体的になされてよい。</p> <p>○ペアグループ、ホワイトボードやロイロノート等の思考ツールを活用することで、学ぶこと・発表することへの抵抗がなくなり身につけてきたと思う。</p> <p>○親子読書等で活字に触れる機会があることはとてもよい。</p> <p>△ICT機器を使った学習が進みPC、iPadを用いての授業が当たり前になる。友だち同士で目を見て話したり、相手の表情を読み取るコミュニケーションも大切にしてほしい。</p> <p>▲新聞の活用はどうしているのか。</p>
		家庭	<p>○家庭内で会話を増やし、子どもが読書に取り組むための声かけ</p> <p>○週末読書の声かけをし、子どもたちの取り組みを見守る。</p>			
		地域	<p>○主に生活科・総合的な学習の時間において、GT(すぐプロジェクト、森林体験学習)を活用した場面設定</p> <p>○主に生活科・総合的な学習の時間における計画を立てて、担当職員と打ち合わせをする。</p>			
意欲的に行動する力の育成	<p>○共通アンケートの「学校が楽しい」「みんなで何かするのは楽しい」の項目で、当てはまる、やや当てはまると回答する児童の割合を90%以上。</p> <p>○児童アンケートで、「言葉の力や発表の話を聞いて、授業や集会・行事等で自分の考えを進んで発表することができた。」と回答する児童の割合85%以上</p>	学校	<p>○友だちや、社会との関係を大切にす心育成と集団づくりの取組</p> <p>○主に生活科・総合的な学習の時間にゲストティーチャーを活用した授業を学期1回以上仕組む。(事前事後学習で、教科横断的に取り組む)</p> <p>○行事・集会・掃除・学級活動などで、週に1回以上、感想発表の場を設ける。</p> <p>○各学年で、発表についての振り返りの場を週に1回以上設ける。</p>	<p>達成指標…妥当・継続 取組指標…継続</p> <p>・共通アンケートより、主に生活科・総合的な学習の時間にゲストティーチャーを活用した授業を学期1回以上仕組むことは、「みんなで何かするのは楽しい」ことにはつながったと考えられる。しかし、「学校が楽しい」と感じられるまでには至らない子どももいた。</p> <p>・行事・集会・掃除・学級活動などで、週に1回以上、感想発表の場を設けること、身につけた言語能力を活かして考えを深め、進んで発表しようとする意欲につながったと考えられる。</p>	A	<p>○達成状況が数値化され分かりやすい。</p> <p>△少人数のため大人の目が届きやすいが、友だち同士の関係性・問題にぶつかった時、大人が入りすぎてよくないと思う。</p> <p>△あいさつ、家庭内での会話はとても大切で重要。</p> <p>△学校内、学級内に色々な相手が出て、考えが多様ということを認め合い、自分も相手も大切に思う学級づくりを進めてほしい。</p> <p>●指標に達しない子どもへの取り組みが知りたい。</p> <p>●課題を詳しく書いてほしい。</p> <p>●目標に「体力づくり」も必要ではないか。</p> <p>▲観光ボランティアのできる子どもの育成を図ることで、地域とのつながりができるのではないか。</p>
		家庭	<p>○家庭内で「三郷っ子スピリッツ(あいさつ・返事・言葉づかい・整理整頓・時間)の励行</p> <p>○三郷っ子チャレンジカード」の取り組みに参加し、感想を書く。</p>			
		地域	<p>○主に生活科・総合的な学習の時間において、GT(すぐプロジェクト、森林体験学習)を活用した場面設定</p> <p>○主に生活科・総合的な学習の時間における計画を立てて、担当職員と打ち合わせをする。</p>			
時間外勤務の削減	<p>○1箇月の時間外在校等時間を40時間以内にする。</p>	学校	<p>○計画的・効率的に会議を運営し、個別業務に充てる時間を確保するとともに、各担当の業務内容を精選する。</p> <p>○ミドルリーダーは、提案内容について適宜、指導・助言を行い、提案内容の精度を上げる。</p>	<p>達成指標…妥当・継続 取組指標…継続</p> <p>時間外在校時間が減少傾向にある。持ち帰りの業務が多い(10時間以上)教職員が数名。</p>	B	<p>△時間外勤務が増えた要因は色々あると思うが、減らす方向で工夫し努力してほしい。</p> <p>△小学校の教師は、全ての教科を担当するので、時間を要すると思う。(ベテランと新人の差が出る。)</p> <p>△時間外在校時間減少は可能だったようだが、持ち帰り業務が減少できるとよい。</p> <p>△コロナ渦で児童へのサポートが多忙と思う。時間外勤務はできるだけない方がいいが、現状は難しいと思う。</p>
家庭	<p>○時間外のPTAや地域協育等に関する会議等の実施について、内容を精選し、妥当な終了時間を設定する。</p>					
地域	<p>○担当者・司会者は会の進行管理と効率的な運営を行う。</p> <p>○参加者は積極的に意見を出し、効率的な会の運営に協力する。</p>					

チームやまくにめざす児童・生徒像

〇〇〇〇
 地心自他基礎にのを基
 誇健康本をとし大も体、切つ力思のいし
 童向や、・上り活生にと用徒努感力謝をるの身
 兒童持つ・ちけ生をも主
 徒努感力謝をるの身兒童持つ・ちけ生をも主
 徒努感力謝をるの身兒童持つ・ちけ生をも主
 徒努感力謝をるの身兒童持つ・ちけ生をも主

習得】生きて働く知識・技能の

力・判断力・表現力等の育成】

学びに向かう力・人間性等の涵養】

身につけた力を活用して

望む人生や社会に生かそうとする

働き方改革の推進】